

2025年4月7日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型) (愛称:ネクスト・ジェネレーション)の基準価額の変動について

平素より、「WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型) (愛称:ネクスト・ジェネレーション)」(以下、当ファンド)をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、4月4日(現地)の海外株式市場は、トランプ米大統領が発表した相互関税に対する主要各国の報復措置で貿易戦争が激化すると懸念から、2日連続で急落する展開となりました。中国財政省が、米国への対抗措置として10日(現地)から全ての米国製品に対し、2日(現地)にトランプ米大統領が発表した中国への追加関税と同率の34%の税率を適用したことが嫌気されたほか、英国、オーストラリア、イタリアの首脳が米国の関税措置への対応を協議したと伝わったことを受け、貿易戦争が激化すると懸念が高まりました。また、FRB(米連邦準備理事会)のパウエル議長が、ビジネスジャーナリスト向けのイベントで講演し、新たな関税措置は「予想以上に大きく」、インフレや成長などへの影響も同様に予想以上となる公算が大きいという見解を示したことも市場心理を悪化させたものと考えられます。一方、為替市場では、円は米ドル、ユーロなど主要通貨に対して円高となりました。このような中、4月7日のWCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)の基準価額は前営業日(4月4日)と比べ▲1,048円下落(▲7.85%)、WCM 世界成長株厳選ファンド(予想分配金提示型)の基準価額は前営業日(同上)と比べ▲818円下落(▲7.81%)となりました。当ファンドでは、中国との貿易戦争激化への懸念から同国関連銘柄の下落が大きくなったことに加え、世界的な企業業績の悪化懸念を背景にテクノロジー、資本財、金融関連などを行う企業の株価が幅広く下落し、基準価額を押し下げる要因となりました。

表① 主要各国株価指数

	2025/4/3	2025/4/4	騰落率
米国(NYダウ)	40,545.93	38,314.86	▲5.50%
米国(NASDAQ)	16,550.61	15,587.79	▲5.82%
欧州(ユーロ・ストックス50)	5,113.28	4,878.31	▲4.60%
英国(FT100)	8,474.74	8,054.98	▲4.95%

※基準価額への反映を考慮して前営業日の値を表示しています。

表② 主要通貨の対円為替レート

	2025/4/4	2025/4/7	騰落率
米ドル	146.03	145.78	▲0.17%
カナダドル	103.80	102.39	▲1.36%
ユーロ	161.51	159.85	▲1.03%
英ポンド	191.36	188.22	▲1.64%

※対顧客電信売買相場仲値(TTM)を表示しています。

当ファンドの実質的な運用はマザーファンドで行っています。マザーファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限につきましては、米WCM インベストメント・マネジメント・エルエルシー(本社はカルフォルニア州ラグナビーチ。以下「WCM 社」といいます。)に運用を委託しています。

運用委託先のWCM 社では引き続き、独自のファンダメンタルズ調査に基づき、持続的かつ強化される参入障壁やそれを下支える強固な企業文化を有する企業を探し出して投資を行います。運用チームは相互関税導入が米国経済動向やハイテク関連の新興企業を含む企業業績動向などの相場変動要因やそれらが世界経済にもたらす影響について注視しつつ、長期的かつ持続的な成長を遂げることが可能と判断した確信度の高い銘柄に厳選投資し、ポートフォリオの運用を続けて参ります。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払い対象にはなりません。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払い対象にはなりません。